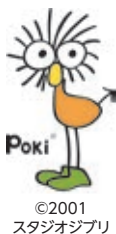




広報
MITAKA City
Information

No.1715 | 令和4年 | 2022.5.15



毎月第1・第3日曜日発行
広報みたかはシルバー人材セン
ターの会員がお届けしています。

発行:三鷹市／編集:広報メディア課

〒181-8555 三鷹市野崎1-1-1

法人番号:8000020132047

市役所電話(代表)

☎0422-45-1151

ホームページ

<https://www.city.mitaka.lg.jp/>

公式Twitter

https://twitter.com/mitaka_tokyo



今号の紙面から

新型コロナワクチン
12歳以上の方への3回目接種 …… 2面

建築家・隈研吾さんからまちづくりの
アドバイスをいただきました …… 3面

国民健康保険・後期高齢者医療制度の
仕組みをお知らせします …… 4面

市からのお知らせ …… 11面から

第38回太宰治賞が野々井透さんの
『棕櫚を燃やす』に決まりました …… 12面

大雨に注意！

風水害への対策を

問 防災課 ☎0422-24-9102

近年、局地的な大雨や突発的な豪雨により、全国各地で水害が頻発しています。市内でも短時間に下水道の排水処理能力を上回る量の雨が降ること、床上・床下浸水や道路冠水といった都市型水害が発生しています。被害を最小限に抑えるため、日ごろの備えや正確な情報収集など、身を守る的確な行動を実践しましょう。



冠水した市内の様子

事前の備え・浸水時の対策

浸水ハザードマップを確認

マップは同課(元気創造プラザ5階)や市民課(市役所1階)、市役所1階受付、市政窓口、コミュニティセンターなどで配布しているほか、市ホームページ(右記二次元コード)からもご覧いただけます。



また、東京都建設局「浸水リスク検索サービス」[HP](https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/river/chusho_seibi/risk/kensaku.html)
https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/river/chusho_seibi/risk/kensaku.htmlを併せて利用すると、より詳細な情報が得られます。



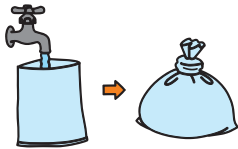
雨水ますや側溝の 小まめな清掃を

雨水ますの取水口や側溝に落ち葉やごみが詰まると、道路冠水や浸水の原因になります。



簡易水のうで浸水を軽減

45ℓのごみ袋を二重にし、中に3割から半分程度の水を入れて中袋と外袋を縛ります。できた水のうを段ボールに入れて、ビニールシートで覆えば、水防効果がより高まります。



情報収集

市では災害などの緊急時に、防災無線やTwitterなどで情報をお伝えします。また、速報性の高いウェブサイト、最新の気象情報などを確認しましょう。

市公式Twitter

防災無線の内容に加えて、気象庁から発表される市内の気象警報を24時間自動配信しています。
※紙面上部の二次元コードからご覧いただけます。

東京都下水道局「東京アメッシュ」

[HP](https://tokyo-ame.jwa.or.jp/)<https://tokyo-ame.jwa.or.jp/>

東京周辺の雨量強度を5分ごとに更新します。



三鷹市河川防災情報

[HP](https://mitaka.e-monitor.jp/public/)<https://mitaka.e-monitor.jp/public/>

市内を流れる野川と仙川の水位や河川カメラの映像などを確認できます。



「線状降水帯」半日前予報が6月から開始

次々と発生する積乱雲により、長時間大雨を降らせる線状降水帯について、発生の半日前に予報する取り組みを気象庁が6月から始めます。今年は「関東甲信」など広い地域での予測ですが、今後、市町村単位まで精度が向上していく予定です。

避難情報の警戒レベル

警戒レベル	避難情報など	市民の行動(避難行動)
5	緊急安全確保 市が発令	《災害が発生・切迫している状況》 命が危険 直ちに身の安全を確保
～警戒レベル4までに必ず避難！～		
4	避難指示 市が発令	《災害が発生する恐れが高い状況》 速やかに危険な場所から避難
3	高齢者等避難 市が発令	避難に時間がかかる人(高齢者、障がいのある方、乳幼児など)とその支援者は危険な場所から避難 ・そのほかの人は、避難の準備
2	洪水注意報 大雨注意報等 気象庁が発表	・避難に備え、浸水ハザードマップで自宅の浸水深や避難先を確認 ・家族の様子や居場所を確認
1	早期注意情報 気象庁が発表	・最新の気象情報を確認 ・備蓄品の確認や土のうの準備

コレだけ！最新防災情報

YouTube「三鷹市公式動画チャンネル」で、簡易水のうの作り方や避難情報の警戒レベルの解説など、災害時に役立つ情報を配信しています。



YouTubeで
配信中
「河村市長に
聞いてみた！」



市内の公園は、地域の防災力を高める拠点として順次整備されます。地域における防災活動の充実・強化を目的として設立する「防災NPOみたか(仮称)」と共に、今後の地域防災の両輪となることを期待されます。

オープン初日、開園式が終わった途端、子どもたちが歓声を上げてブランコや滑り台に集まってきました。ご近所の皆さんも、みんな笑顔です。完成に至るまでの8年間は長かった気もしますが、国や東京都、さらには隣接市との調整にかかった時間や苦労を考えると、近隣の方々と関係者の皆さん、そして職員には改めて感謝の思いです。

このほど、最も被害の大きかった地域に、「中原もみじ防災公園」がオープンしました。普段は「もみじ」がシンボルツリーの楽しい公園ですが、災害時には25mプール3杯分の水をためることができ、雨水貯留施設をはじめ、防災備蓄倉庫、かまどベンチ、さらには非常用トイレなどを完備した防災拠点として機能します。

8年前の6月、中原の一部が電(ひょう)に覆われました。雷を伴う集中豪雨により、床上・床下浸水や自動車の冠水などの被害が発生しただけでなく、初夏の暑い路面に冷たい雨が降ったものから、辺り一面が霧に包まれました。きつとご記憶の方も多いと思います。



三鷹市長
河村 孝

「中原もみじ防災公園」の
オープンに寄せて

市長コラム